



青木南消防署長就任あいさつ



署長 青木 浩司

2022年(令和4年)4月1日付けで、南消防署に就任いたしました。

会員の皆様方には、平素より地域の防火・防災活動等に対しまして、格別なるご理解とご協力を賜り心より感謝を申し上げます。

また、近年では予想を上回る災害が全国各地で猛威をふるい甚大な被害をもたらしています。こうした中、我々南消防署といたしましても、職務の重要性を再認識し、貴協会と連携を密にし、地域住民が安全で安心して暮らせるよう取り組んでいく所存であります。

今後とも、会員の皆様方には、引き続き一層のご支援とご協力をお願い申し上げますとともに、貴協会の益々のご発展を心からご祈念申し上げ、就任のごあいさつといたします。

『出かける時 マスクと共に 火の点検』

令和4年度南防火協会防火標語



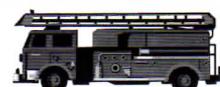
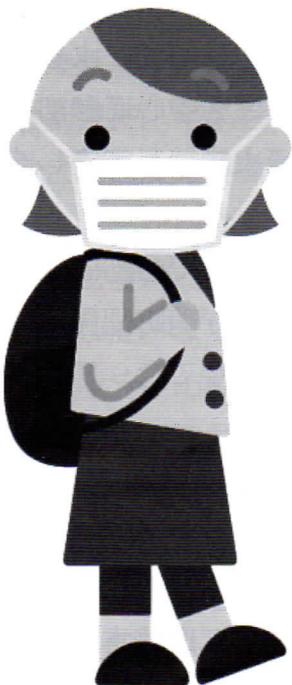
南防火協会では、火災予防思想の普及を図るため、広く地域住民から「火の用心」をテーマに防火・防災に関する標語の募集を行っています。

2022年度(令和4年度)の防火標語に南消防署管内の小学校を中心に3,363点の応募があり、審査の結果、福山市立曙小学校6年生の小畠汐莉さんの作品が最優秀賞に選ばれました。

2022年(令和4年)1月19日(水)、同小学校で行われた表彰式では、篠原南防火協会長から賞状と記念品が授与されました。

小畠さんは、「私がこの防火標語を書いたことで、自分も、これを読んだ人も火事に気を付けられるようになればいいなと思って書きました。そして、今はコロナウイルスが流行っているので、感染者も同時に減ればいいなと思って「マスクと共に」と書きました」と話していました。

また、最優秀賞の小畠さんの作品のほか優秀賞3点、佳作10点については2023年度全国統一防火標語への出品を予定しています。



津之郷学区 小型消火器使用訓練

津之郷学区では、毎年12月第一日曜日に2自治会小型消火器使用講習会を行っています。

南消防署瀬戸出張所に依頼し、小型消火器の扱い方、水消火器での的当て体験、食用油発火による消火体験を行っています。各家庭から小型消火器を持ち寄ってもらい、それを使って消火訓練を実施します。十数本の消火器が集まりますので、十分な回数の体験ができます。使用した消火器は、詰め替え費用を一部自治連から補助し、各家庭の消火器の詰め替えを促進しています。各自治会で行いま



すので、講習会に使用できる場所が少ないデメリットはありますが、人が集まりやすいメリットがあり、火災予防の意識高揚を図れることと、消火器の扱い方を身近に体験できる機会を得ることができます。昨年は、無火災表彰を受けることができましたが、表彰後、相次いで火災発生がありました。今後さらに、誰でもが小型消火器を扱え、住民の火災予防の意識高揚を図りたいと思います。

津之郷学区では、地域ごとに各戸に消火バケツを一週間から数日でリレーし、火災予防の意識高揚に努める取り組みを継続しています。この取り組みは昭和50年以前から継続しているものです。

令和3年度消防功労者総務大臣表彰

篠原憲二会長は、平成16年に福山市防火協会曙支部の支部長に就任以来、平成23年に南防火協会副会長、平成29年に南防火協会会長及び福山市防火協会連合会副会長の要職を歴任。防火協会の運営に積極的にかかわり、住宅防火対策の推進として秋・春の火災予防運動期間中に関係機関と連携して防火パレードと街頭広報や防火教室等を実施されました。また、初期消火技術の向上のため消火技術競技大会の開催や消防競技大会への参加をはじめとした消火器訓練の実施等、常に熱意をもって防火・防災思想の普及徹底並びに消防力の充実強化に尽力し、地域の防火・防災力向上に多大な貢献をしたことが認められ、令和3年7月消防功労者総務大臣表彰受賞の栄に浴されました。令和4年6月21日（火）に開催した第1回常任理事会で表彰伝達を行い、青木南消防署長から表彰状と記念品を受け取られました。



尊い命を守るため 良識ある救急車の利用をお願いします。

新涯学区 防災講演会

新涯学区では、3月12日（日）に新涯小学校の体育館で「天気と防災に関する講演会」を開催しました。新型コロナウイルス感染症対策として、マスク・消毒・検温・参加者の情報提供などをしていただきました。

講師にNHKなどでおなじみの気象予報士の勝丸恭子さんをお招きし、『気象予報と防災』の演題で講演をしてもらいました。防災士でもある勝丸さんは、気象情報や警報・注意報などの理解の仕方や災害が起こった時の行動など、わかりやすく講演されました。講演後、参加者から「勉強になった」、「楽しかった」などの意見があり、大変好評でした。



川口東支部 総合防災訓練



川口東支部では、昨年度、総合防災訓練を川口東小学校で行いました。学区民・地元消防団川口分団によるABC粉末消火器訓練には各町内より女性を中心に参加を頂き、実際にオイルパンに火を着け消火訓練を実施しました。

消火器を使用するのは初めての方ばかりで最初は中々消すことが出来ず戸惑っておられましたが消防団員の指導により、火点に近づいて消火することができ、初期消火の大切さを体験して頂きました。

また、参加した小学生も消火器の取り扱いの指導を受け、火の用心の大切さを学ばれたことと思います。

訓練終了後、消防団川口分団による放水訓練を見学し、火災の恐ろしさや消防団活動などについて理解されたことは今後の火災予防に役立つことと思います。

放火火災に注意

みんなで「放火されない・させない」環境をつくりましょう!!

福山地区消防組合南消防署管内で不審火と思われる火災が連続発生しました。
放火火災防止の基本は、「放火されない・させない・被害を大きくしない」ことです。
そのためにも次の「放火されない・させない環境づくり」のポイントに注意しましょう。

「放火されない・させない環境づくり」のポイント

- 1 新聞やダンボール等の燃えやすいものを家の周りに置かない。
- 2 郵便受けに新聞やチラシなどを溜めない。
- 3 ゴミは指定された日時・場所に出す。
- 4 空き家、物置などは施錠しておく。
- 5 夜間、家の周りや駐車場には、センサーライトや常夜灯を設置する。
- 6 車やオードバイなどのカバーに防災製品を使用する。
- 7 いざというときのために、消火器や消火バケツを用意する。
- 8 地域住民との親睦を深め、地域ぐるみで放火防止対策を実施する。



令和4年度南防火協会防火標語

最優秀賞

「出かける時 マスクと共に 火の点検」

曙小学校

6年

優秀賞

「火のようじん みんなで守ろう この町を」

川口小学校

3年

「火は消した その思いこみ 火事のもと」

赤坂小学校

5年

「消したかな ゆだんしないで さいかくにん」

新涯小学校

3年

佳作

「防ぐのも 火事を起こすのも あなたです」

西小学校

6年

「全ての火の 監視カメラは あなたです」

西小学校

6年

「消火器が どこにあるのか 知っている？」

南小学校

4年

「消し忘れ 気付いてくれて ありがとう」

多治米小学校

6年

「わすれるな でかける前に 火のかくにん」

曙小学校

4年

「コンロから はなれる前に たしかめて」

箕島小学校

2年

「火の元は あなたの油断 種をまく」

山手小学校

5年

「消えたかな」 けしたつもりは かじのもと」

泉小学校

6年

「火の元を 2度見てかくにん 火事ふせぐ」

赤坂小学校

5年

「火のもととは 自分でけそう 確実に」

水呑小学校

6年